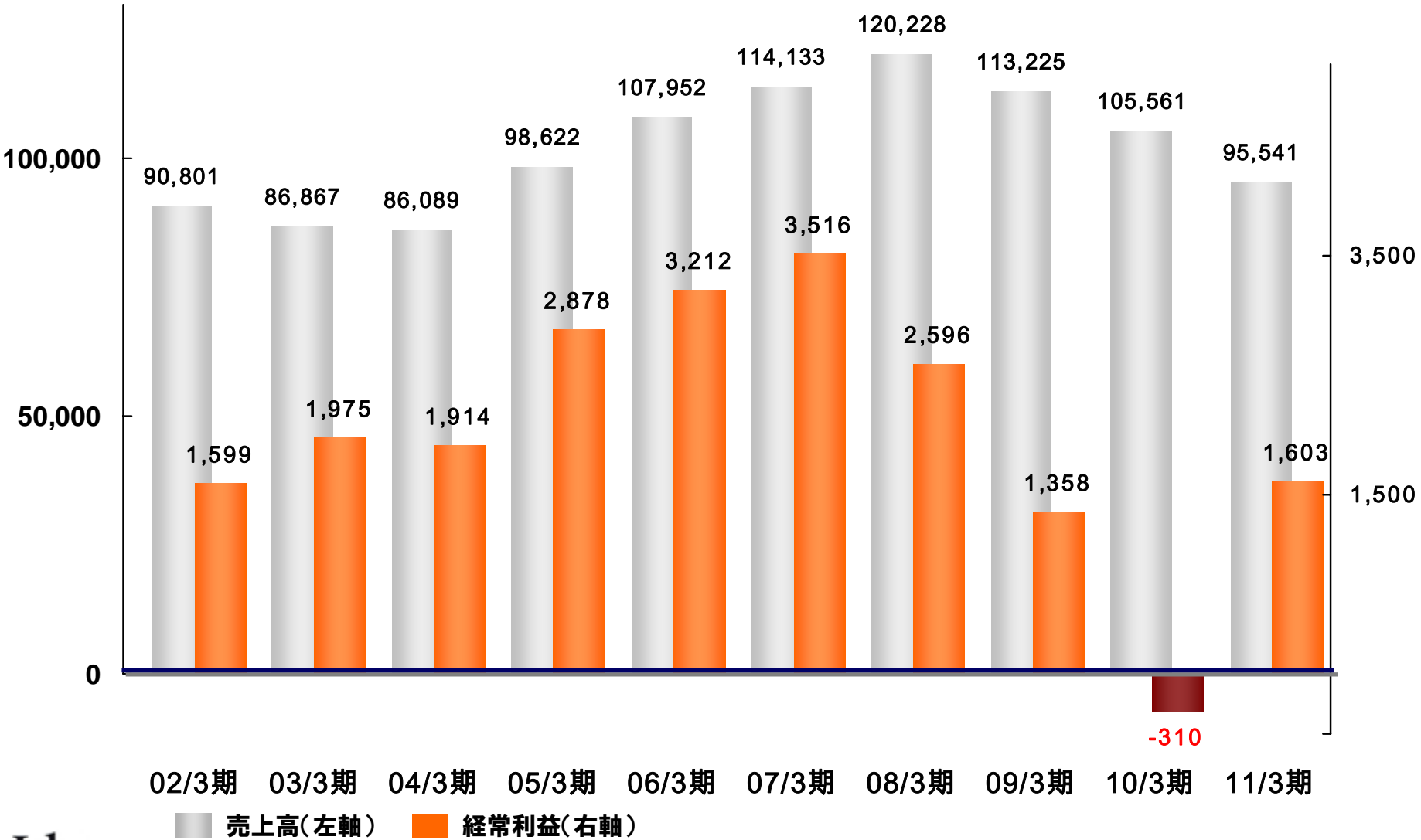


II. 2011年3月期

JALUXグループ連結決算

上場以来の業績推移グラフ

連結年度業績推移 (単位:百万円)



2011年3月期を振り返って

IRトピックス

2010年

3月 **組織変更ならびに執行役員選任に関するお知らせ**
(執行役員 12名→4名、部門制廃止 事業構造改革)

4月 **期末配当予想の修正(10円→0円)**

5月 **新役員体制の発表/横尾新社長**
(取締役9名→6名 経営を効率化)

10月 **2011年3月期 第2四半期業績予想の上方修正**
(営業利益350→770 経常利益280→740 純利益0→430 単位:百万円)

12月 **JALUX HAWAII, Inc. 閉鎖**

2011年 1月 **2011年3月期業績予想の上方修正**
(営業利益1,300→1,600 経常利益1,100→1,700 純利益300→400)

期末配当予想の修正(未定→5円) 復配へ

3月 **東日本大震災発生**

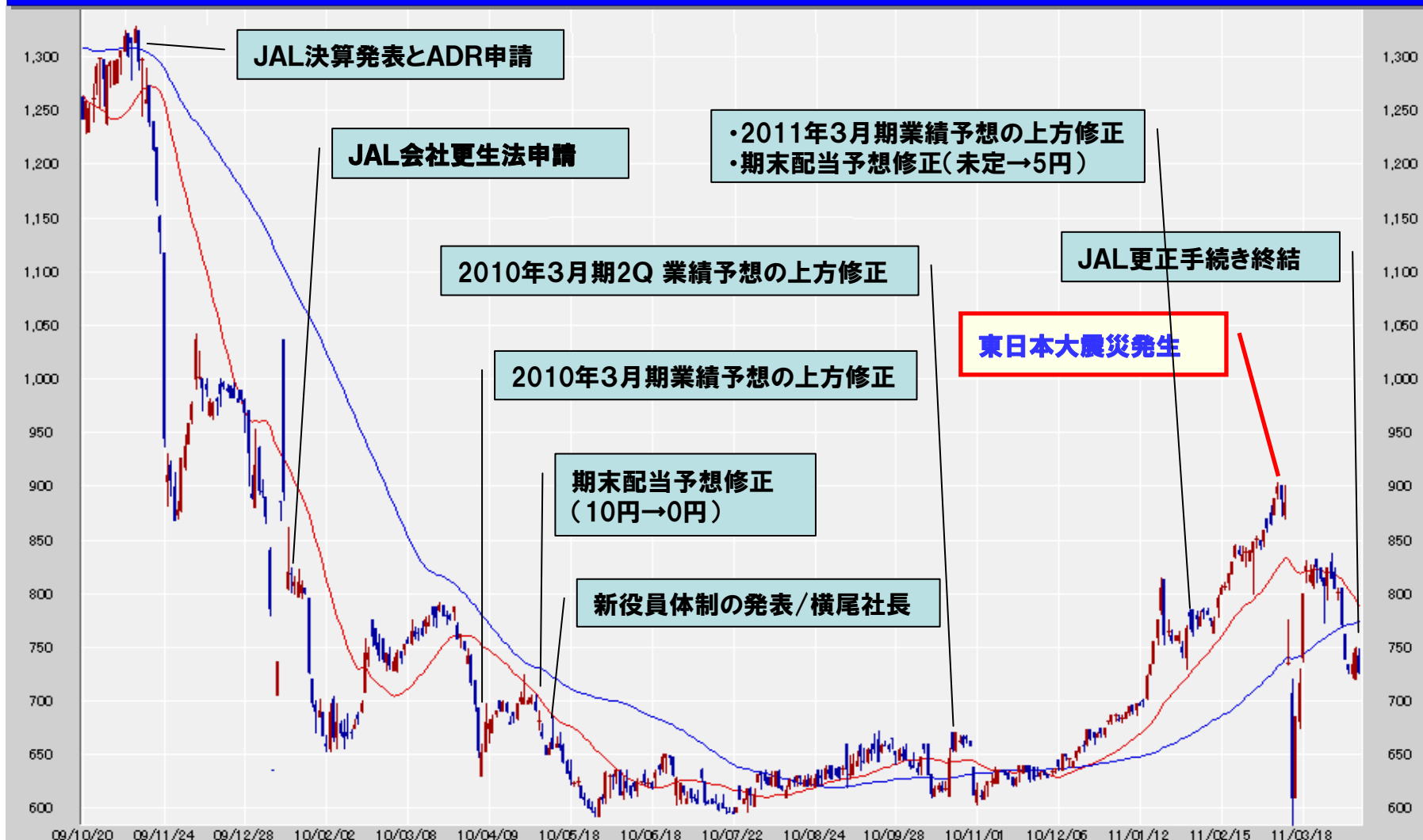
JALUXトラスト株式会社 設立

JALUX EUROPE Ltd. 閉鎖→欧州事務所開設

2011年3月期

2011年3月期を振り返って

JALUX株価の推移<日足>(2009/10~2011/03/31)



事業構造改革の要点 ~2010年3月より実施~

事業構造改革の基本骨子

企業体質の強化

売上高の拡大が望めない市場環境下でも一定水準の利益を確保できる強靱な収益体質を確立することを目的に、固定費を中心に抜本的な事業コストの見直しに取り組む。また意思決定の迅速化と経営効率化を目的に大胆な組織の集約とスリム化を図る。

重点事業の強化

当社の強みを活かせる事業分野に経営資源を集中し、事業競争力の強化と筋肉質な収益モデルへの変革を実現する。一方で収益性の低い事業については早期に撤退縮小を実施する。

**コスト構造の改革と
筋肉質な
企業体質の実現**

事業拡大が望めない環境下でも利益を確保できる収益体質の確立

**経営資源の集中と
事業分野の見直し**

重点・コアビジネスへの経営資源を集中と低採算ビジネスからの撤退・縮小

事業構造改革の取り組み結果(2009年度-2010年度)

収益力の拡大と収益構造の強化



- 事業領域・拠点の集約
- 2009年度～2010年度 不採算事業撤退、支店統廃合、関係会社の整理・再編
- 収益・コスト管理の徹底
- 2010年度 事業毎B/S、C/F経営の推進

在庫圧縮・保有資産の売却・コスト削減



- たな卸在庫の圧縮
- ワイン在庫など
- 保有資産の売却
- 2009年度 投資有価証券17銘柄売却
2010年度 成田・羽田土地建物 一部売却
- 本社オフィスの移転
- 2010年7月に移転、年間賃料は1/4に(2011年～)

組織スリム化・人事施策



- 希望退職者の募集等
- 2009年度実施
(自然減、転籍者を含める。単体社員の23.5%に相当)
- 組織集約とフラット化
- 2009年度実施営業2部門7本部体制
全社42部・支店を2営業本部全社 全社20部に削減
- 役員数の削減(執行役員含む)
- 2010年度 常勤役員14名を7名体制へ
→(2011年度6月17日～ 5名体制へ)

(1) 連結決算概要 *Consolidated Financial Summary*

対 前期
Compared with the previous period

■ 経営成績 *Income Statements*

単位:百万円 Million yen

	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比
売上高 Net Sales	105,561	95,541	△10,020	90.5%
売上総利益 Gross Profit	21,752	20,570	△1,181	94.6%
販売管理費 SG&A	22,047	19,024	△3,022	86.3%
営業利益 Operating Income	△294	1,546	+1,841	-
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	△15	57	+72	-
経常利益 Ordinary Income	△310	1,603	+1,914	-
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	△1,480	△550	+930	-
当期純利益 Net Income	△1,263	492	+1,755	-
売上総利益率	20.6	21.5	+0.9	104.4%
経常利益率	-	1.7	-	-

対前期

Compared with the previous period

■ 販売管理費の内訳 *Breakdown of SG&A Expenses*

単位:百万円 Million yen	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比
	売上総利益 Gross Profit	21,752	20,570	△1,181
人件費 Personnel expenses	8,481	7,062	△1,419	83.3%
賃借料 Rent expenses	4,292	3,637	△655	84.7%
社外役務費 External service fee	1,503	1,567	+64	104.3%
減価償却費 Depreciation	816	710	△105	87.0%
荷造運送費 Packing and transportation expenses	1,283	1,213	△69	94.6%
その他 Other expenses	5,669	4,832	△836	85.3%
販売管理費合計 SG&A	22,047	19,024	△3,022	86.3%
営業利益 Operating Income	△294	1,546	+1,841	-

■ 財務状態 *Consolidated Balance Sheets*

対 前年度末

Compared with March 31, 2010

単位:百万円 Million yen	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比
	総資産 Assets	43,439	34,589	△8,849
自己資本 Shareholders' Equity	12,608	12,848	+240	101.9%
自己資本比率 Equity Ratio (%)	29.0	37.1	+8.1	127.9%
有利子負債残高 Interest Bearing Debt	14,026	6,767	△7,259	48.2%
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times)	1.1	0.5	△0.6	45.5%

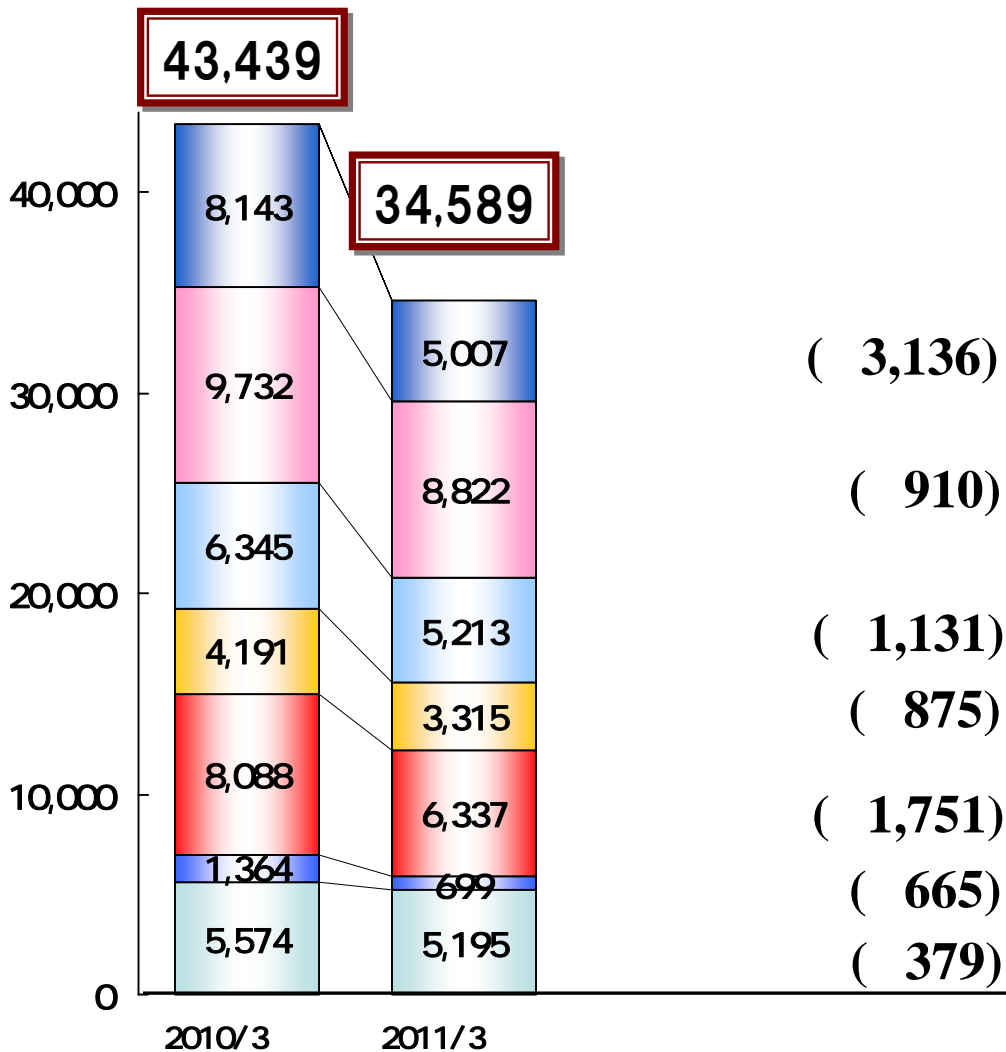
Q5

貸借対照表

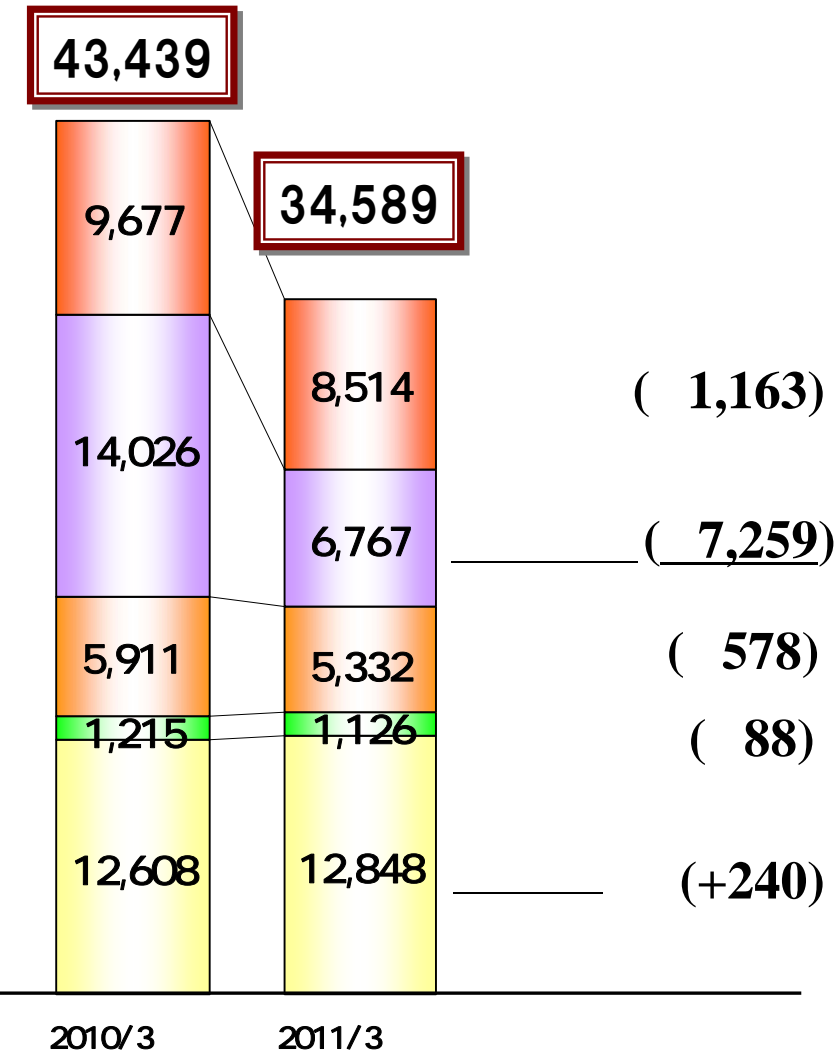
2010

million yen

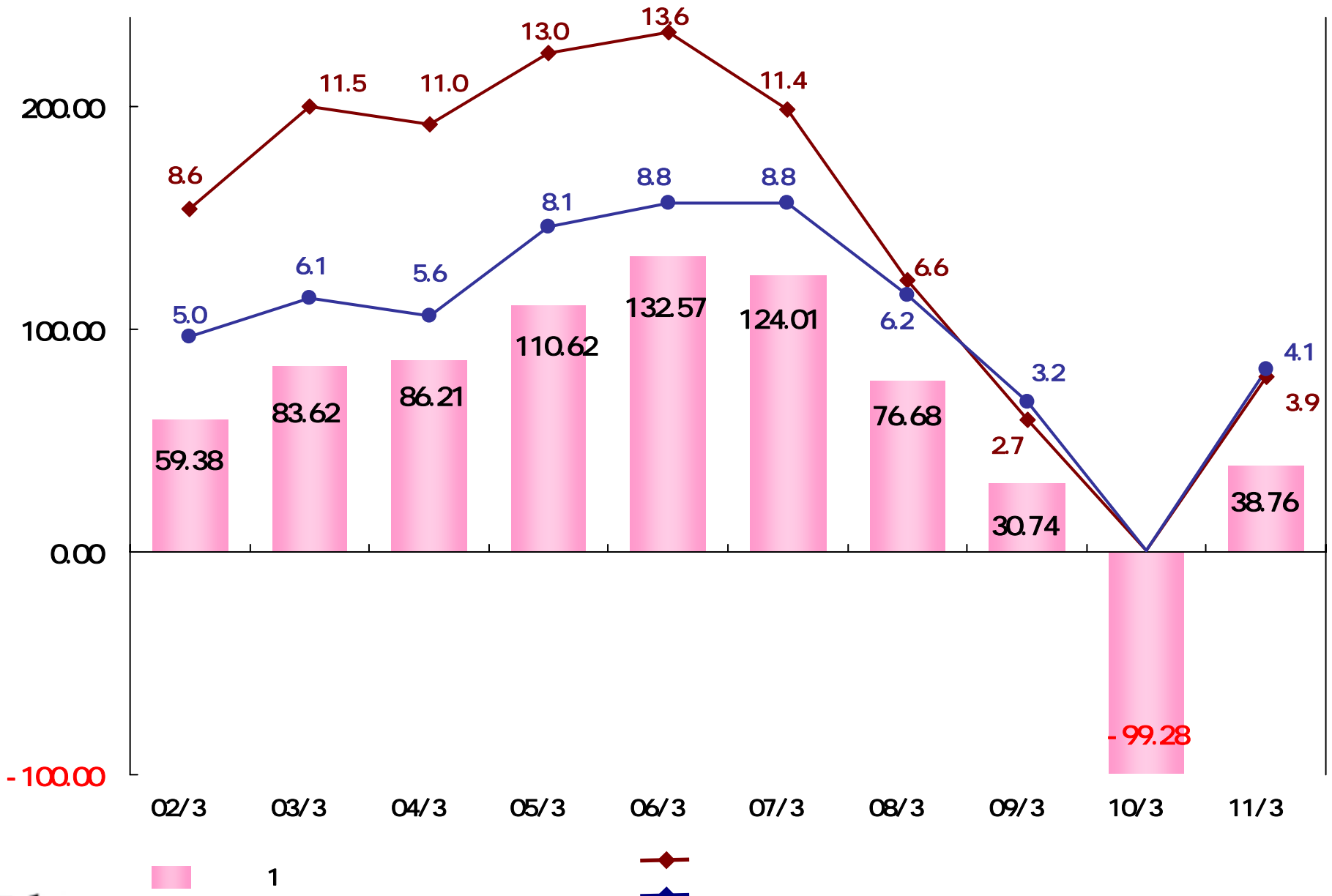
資産の部 Assets



負債・純資産の部 Liabilities and net assets

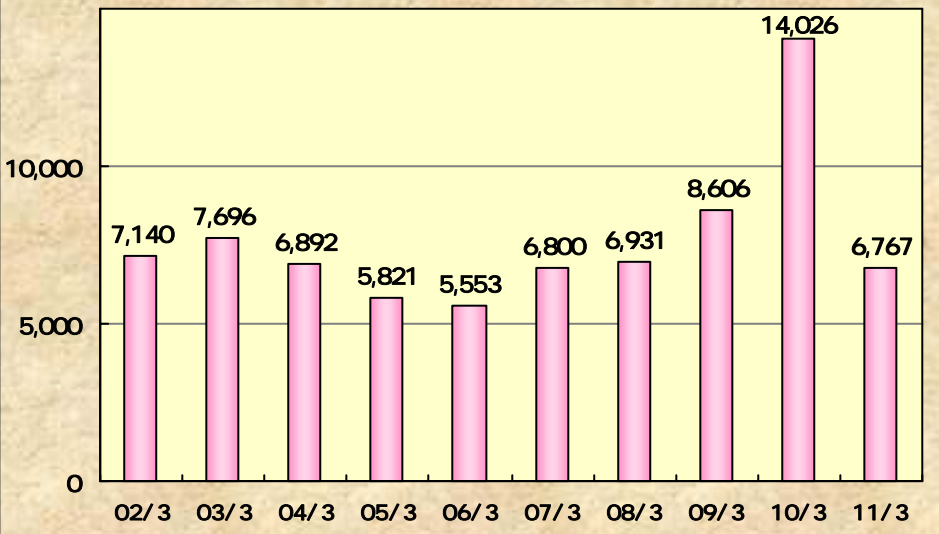


EPS・ROE・ROAの推移

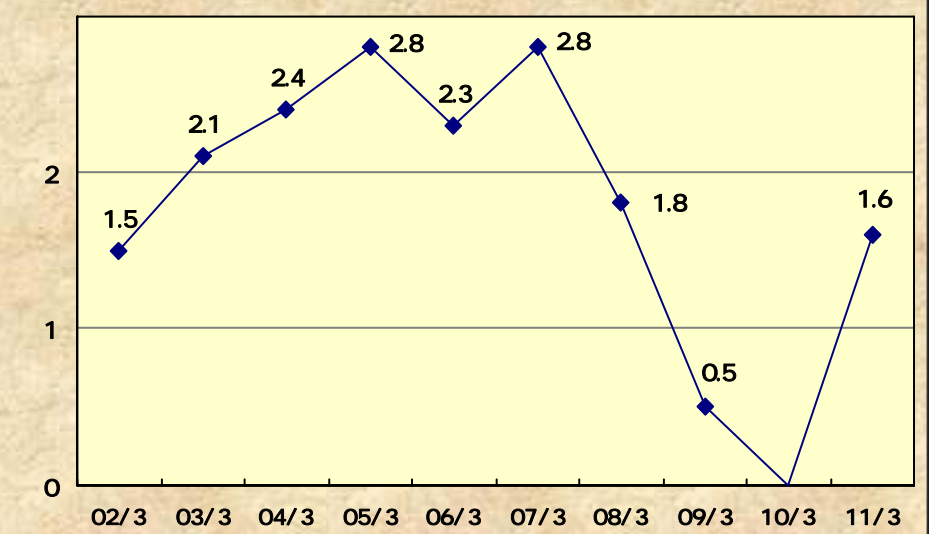


各種指標の推移

()

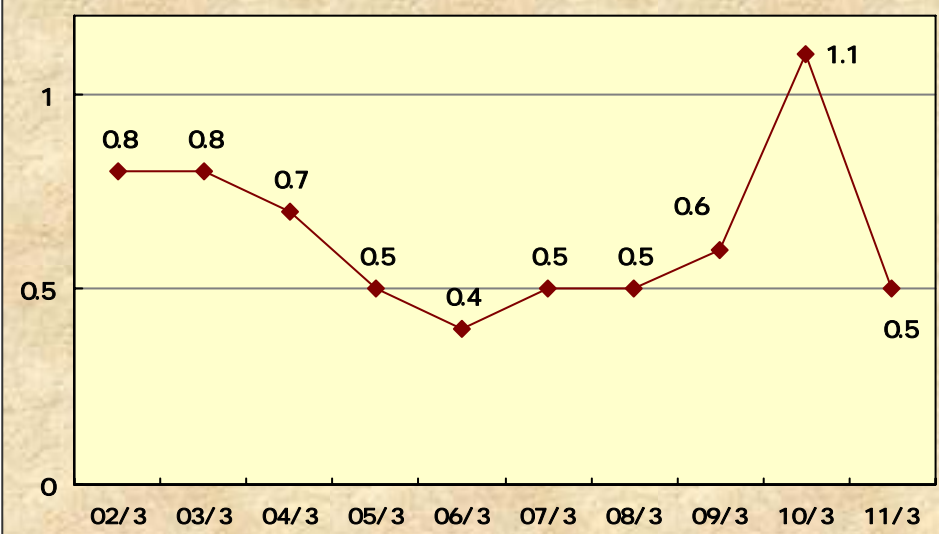


()

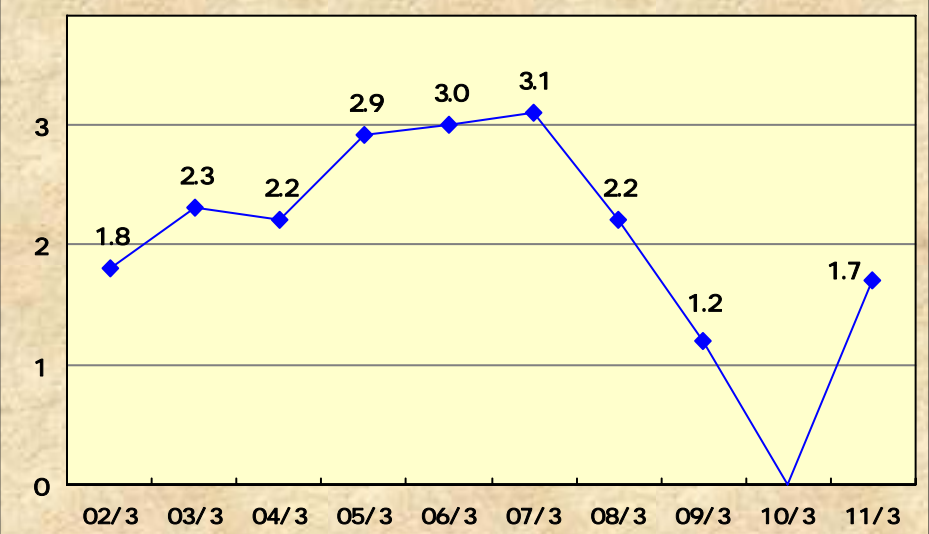


()

(Debt equity ratio)



()



2011年3月期 決算概要

2010

■ 連結キャッシュ・フロー概要 *Consolidated Summary of Cash Flow*

対 前期
Compared with the previous period

単位:百万円 Million yen	10年3月期	11年3月期	対 前期	
	March 2010	March 2011	前期差	前期比
営業キャッシュ・フロー Net Cash from Operating Activities	△1,170	4,946	+6,117	-
投資キャッシュ・フロー Net Cash from Investing Activities	△1,617	300	+1,917	-
財務キャッシュ・フロー Net Cash from Financing Activities	4,824	△7,334	△12,158	-
フリーキャッシュフロー Free Cash Flow	△2,787	5,246	+8,034	-



Performance per Operating Segment

(2)セグメント別実績 *Results per Segment*

対 前期
Compared with the previous period

	売上高 Net Sales				売上総利益 Gross Profit			
	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比
単位:百万円 Million yen								
航空関連 Aviation-Related	27,744	19,545	△8,198	70.4%	3,022	2,590	△432	85.7%
メディア・ライフサービス Media Life Service	14,888	12,672	△2,216	85.1%	2,833	2,909	+76	102.7%
リテール Retail	46,488	45,713	△775	98.3%	13,985	12,970	△1,014	92.7%
フーズ・ビバレッジ Food & Beverage	16,575	17,890	+1,314	107.9%	1,995	2,209	+213	110.7%
全社及び消去 Eliminations	△135	△279			△84	△109		
合計(連結) Total	105,561	95,541	△10,020	90.5%	21,752	20,570	△1,181	94.6%

セグメント別の営業概況(売上総利益)

Performance per Operating Segment (Gross Profit)

対 前期

Compared with the previous period

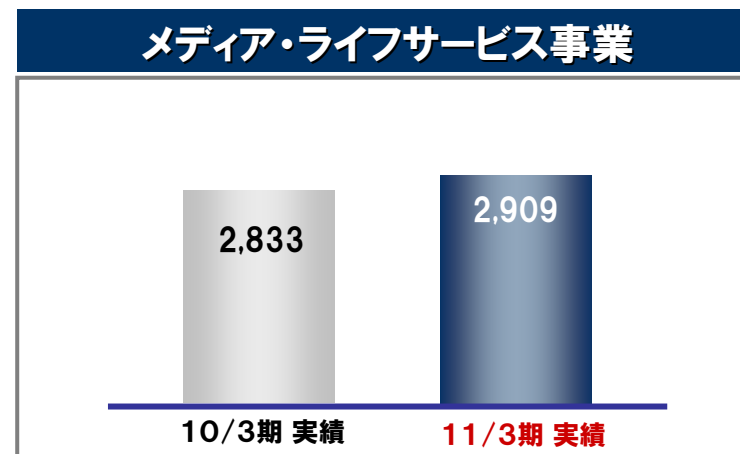
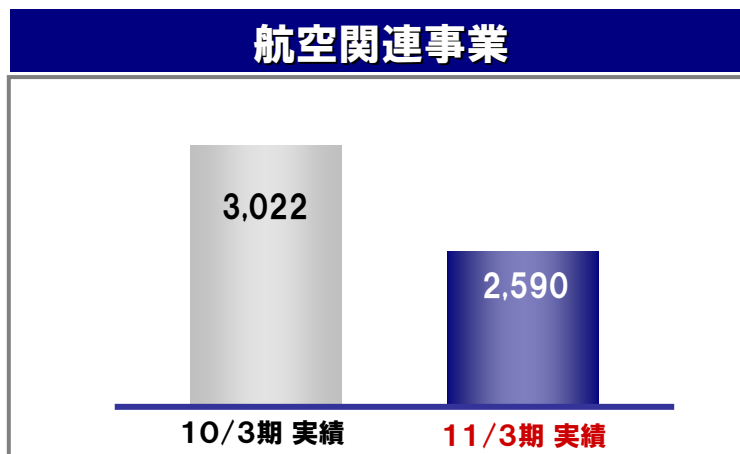
	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比
コーポレート系 合計	5,856	5,499	△356	93.9
《事業本部別の内訳》				
航空関連事業	3,022	2,590	△432	85.7
メディア・ライフサービス事業	2,833	2,909	+76	102.7

Remark

単位:百万円 Million yen, %

大量退役した中古航空機の取扱い、鉄道車両向けシート販売などプラス要素はあったものの、航空機部品の取引減少、機内用品の調達低調により、セグメント全体では減益

印刷メディア関連は法人の需要減により減益。保険関連、不動産サブリース事業の堅調により、セグメント全体では増益



セグメント別の営業概況(売上総利益)

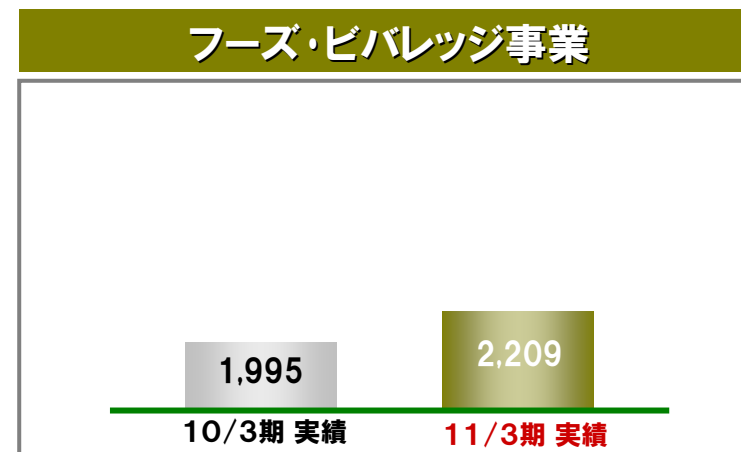
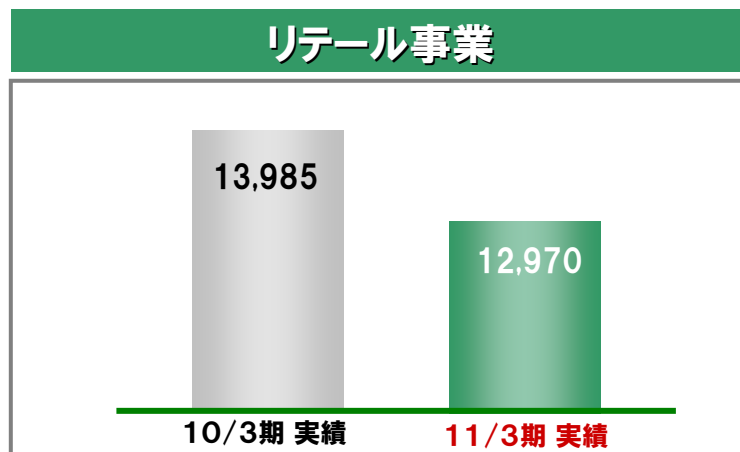
Performance per Operating Segment (Gross Profit)

対 前期

Compared with the previous period

	10年3月期 March 2010	11年3月期 March 2011	前期差	前期比	Remark
リテール系 合計 《事業本部別の内訳》	15,980	15,179	△800	95.0	
リテール事業	13,985	12,970	△1,014	92.7	免税店向け卸売やデパート向け贈答用食品関連などは好調に推移したものの、航空機減便による旅客数減少の影響を受けた空港店舗(免税店も含む)等が低調であったことにより、セグメント全体では減益
フーズ・ビバレッジ事業	1,995	2,209	+213	110.7	農水産関連は冷凍加工品や生鮮青果物の輸入販売が昨年度に引き続き過去最高実績、ワイン関連は収益構造の改善が奏功し、セグメント全体では増益

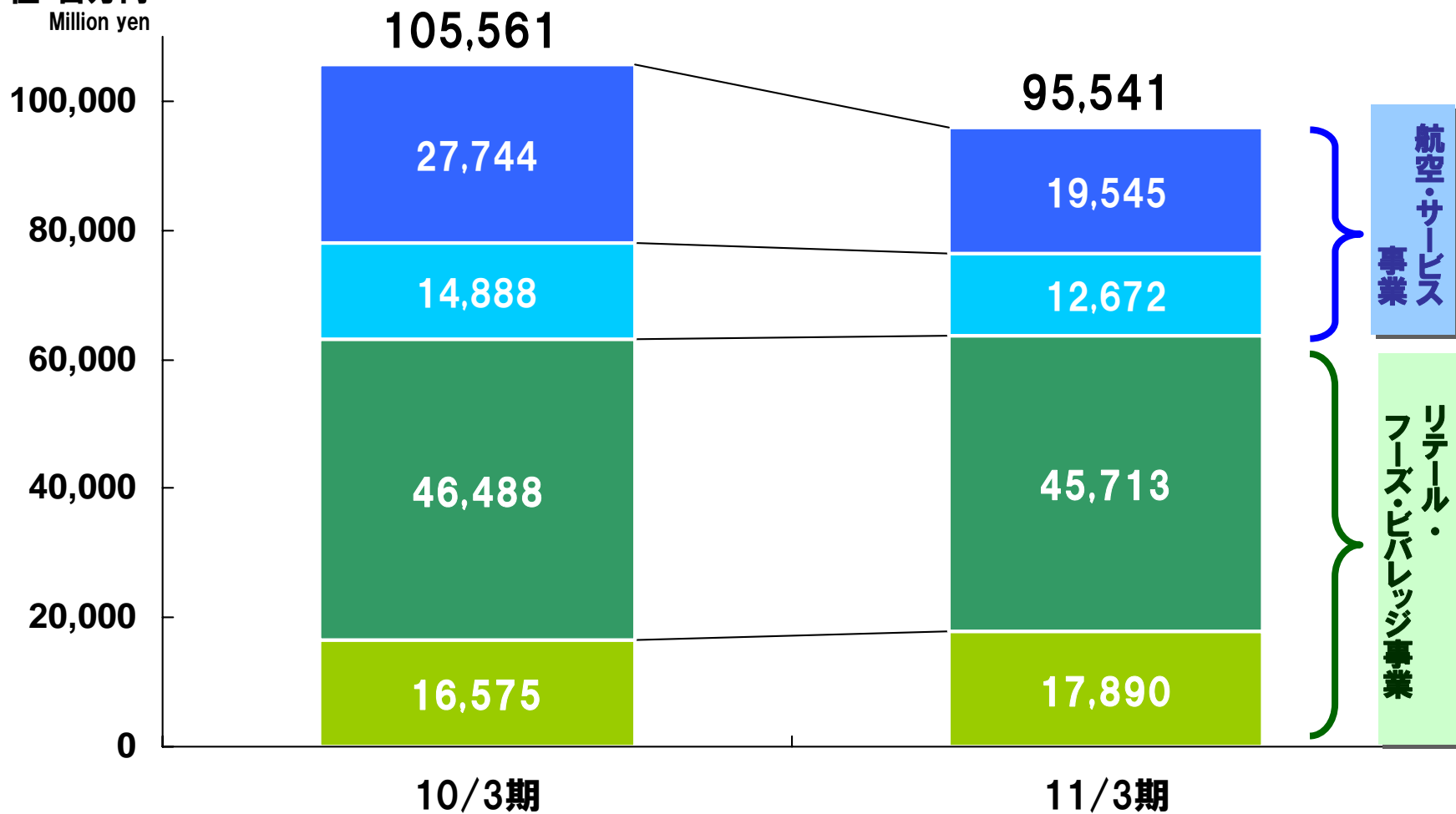
単位:百万円 Million yen, %



セグメント別 売上高 *10/3期実績はギフト事業部のセグ変更を換算・反映しています。

単位:百万円
Million yen

(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)



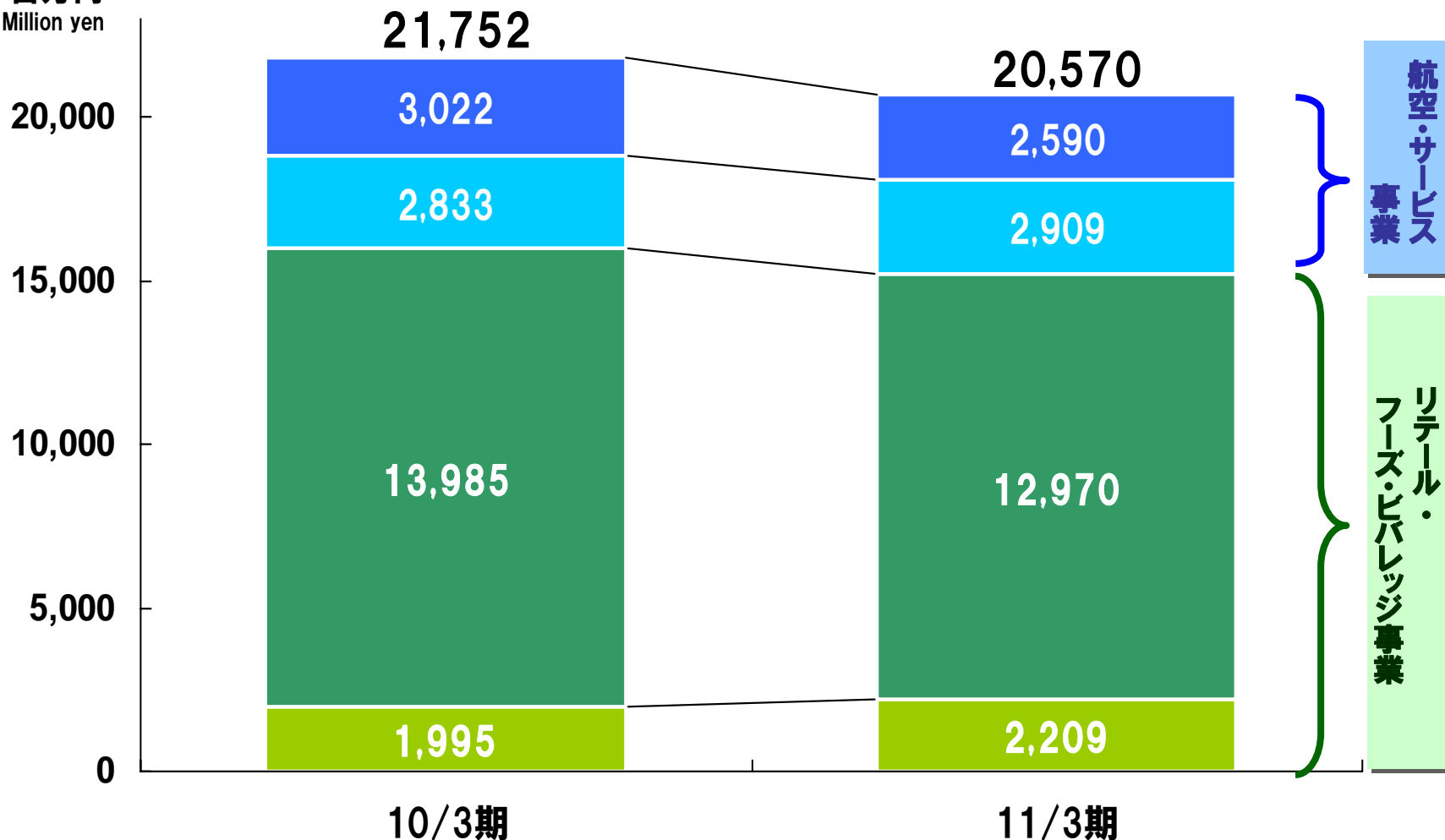
■ 航空関連
 ■ メディア・ライフサービス
 ■ リテール
 ■ フーズ・ビバレッジ

セグメント別 売上総利益

*10/3期実績はギフト事業部のセグ変更を換算・反映しています。

(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)

単位:百万円
Million yen



■ 航空関連
 ■ メディア・ライフサービス
 ■ リテール
 ■ フーズ・ビバレッジ

「東日本大震災」の影響について



当社グループに人的被害はなし。



北海道エリア、東北エリア及び関東エリアの空港店舗について、一部店舗への被害状況は軽微。現在、通常通り、営業中。

2012 3



震災等による影響が不透明な中、合理的予想算定が困難であり、2012年3月期業績見通しは現時点では未定



震災の影響を把握でき次第、業績予想を公表の予定